

第59回西高祭実施

4年ぶり 制限なしの一般公開 多くの来場者が訪れる



第107号
発行
2023年
9月8日(金)
校会
高委員
西委員
田編集
上新編
編集局長: 嶋田 晴佳
新聞委員長: 樋口 華
重田 陽菜
金井 優
大田 菜
佐藤 美
田村 雪
田村 さく
レイアウト: 樋口 華



第59回西高祭オープニングセレモニーの様子 水野一成理事長、佐藤純也校長、喜多和也 PTA 会長と共に西高祭実行委員長、生徒会長がテープカットを行なった

7月1日(土)、2日(日)に「Utopia」理想の一年季節を駆け巡ろう」というテーマで第59回西高祭が実施された。今年度は4年ぶりに制限を設けない一般公開を行い、非常に活気の溢れる文化祭となった。生徒たちはテーマに沿ってそれぞれが理想を込めた企画を行い、西高祭は大成功で幕を閉じた。

今年度のテーマは「Utopia」

「当たり前の日常を取り戻す」

第59回西高祭のテーマは「Utopia」理想の一年季節を駆け巡ろう。新型「コロナウイルス」によって制限を受けたこと、行けなかった場所や普段抱えている思いをぶつけ、理想の季節を学校全体で作りたいという願いが込められたテーマだ。全てのクラス・クラブに担当の季節が割り振られ、やりたかった事や理想の思いを込めたレジャー施設、季節のイベントを再現した企画などが行われた。

1日目の校内祭では

2日目の一般公開では



一般公開受付の様子 当日は多くの人々が訪れた

新たな取り組み クラスパフォーマンスで絆を深める

西高祭1日目、開祭式

らう」に沿って各クラスに割りふられた月に



クラスパフォーマンス賞を受賞した3年5組の生徒による発表

後にクラスパフォーマンスが行われた。西高祭史上初めての取り組みとなるこの企画は、生徒から「クラスでステージに上がりひとつのものを作り上げ、絆を深めたい」という声が多く上がったことから企画された。西高祭テーマである「Utopia」理想の一年季節を駆け巡

らう」に沿って各クラスに割りふられた月に、連したダンスや劇などが発表され、大きな盛り上がりを見せた。クラスパフォーマンス賞を受賞した3年5組は学ランを着用し「イケナイ太陽」のダンスを披露、2年7組は留学生と共にアクロバティックなパフォーマンスを披露し、会場を沸か



西高祭実行委員長の遠藤愛蘭さん

とで、保護者だけでなく卒業生や中学生、地域の方々と約1600人が来場した。

「高校生活の全てを「コロナ禍で過ごした3年生にとつて今年の西高祭は最後となるため、より多くの人に見てもらい、盛り上がるものにした」と考え、制限なしという結論に至った」と一般公開責任者の樋口華さん。「1、2年生の後輩たちにも制限のない一般公開を知ってもらおうと、来年度以降もより良い西高祭を作っていくつもり」と続けた。

(重田 陽菜)

メイン企画 圧巻のスカイランタン

幻想的な世界作る

西高祭のメイン企画として後夜祭にて行われたスカイランタン。コロナ禍で我慢してきた4年間の思いを、スカイランタンに込めて飛ばし、未来への希望を持ってほしいという願いからこの企画が実施された。

当日は強風の影響で外での打ち上げは叶わず、体育館で行われることになったが、宙に浮かぶたくさんスカイランタンは圧巻であった。参加した生徒からは、「初めての経験でも綺麗で感動した」「来年もやってほしい」という声が多く聞かれた。



体育館にて打ち上げられたスカイランタン

(大田 すみれ)

企画担当の遠藤さんはスカイランタンを終えての感想を「多くの生徒が楽しんでくれてやりがいを感じた。感動を与えることができてよかった」と語った。全校生徒に需要がある企画を実施することは難しいが、生徒会の柔軟な発想が西高祭のラストを彩った。

生徒会長の横沢怜奈さんは、「成功するか不安だったスカイランタンが大成功に収まり達成感を感じた西高祭だった」と振り返った。

表彰 最優秀賞は2年2組



最優秀賞を受賞した2年2組の企画「ウエダニシスマイルジャパン」

今年度の西高祭の最優秀賞は2年2組の「ウエダニシスマイルジャパン」が受賞した。この企画は、コロナ禍で「Utopia」を表現している。規模が大きな企画のため、西高祭一週間前から遅くまで学校に残り準備を進めていた2年2組は大きな喜びを見せた。1日目にコーヒーカップを動かせないアクシデン

トが発生し、一度は入賞を諦めたものの、クラス一丸となり逆境を乗り越えた最優秀賞受賞となった。2年2組の企画代表者の小林優美香さんは「最優秀賞という賞を受賞できたのはクラス全員の協力があったことだった」と話し、クラスへの感謝を語ってくれた。

今年度、最もテーマに沿った企画を行ったクラスに贈られる「PTA ユートピア賞」が新設された。新設の経緯についてPTA係主任の片桐

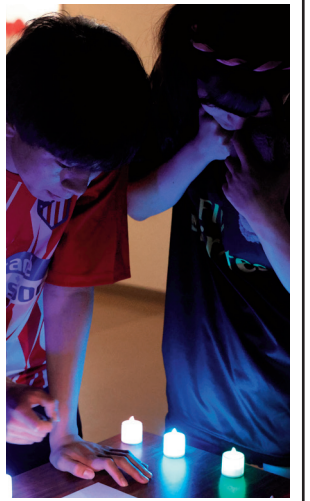


PTA ユートピア賞受賞の様子

拓磨先生は、「保護者からの西高祭の様子を知りたいという声や様々な観点からの賞があってもいいのでは、という声をもとに作られた」と話された。PTA ユートピア賞を受賞した3年5組には副賞としてお菓子の詰め合わせが贈られた。

(金井 茉優)

11年ぶり 中夜祭実施



中夜祭に参加する生徒

1日目の校内祭終了後に中夜祭が実施された。今まで前夜祭や後夜祭は継続して実施されてきたが、中夜祭という企画は平成24年以來11年ぶりの実施となった。当初予定されていた内容は、校内に隠された宝物を見つけ3階の化学室から中庭に設置されたログトーチを見てもらうというもの。しかし当日は大雨で下校が促される放送も入るなど想定外の事態が起

きた。中夜祭の企画責任者を担当した西高祭実行委員会副委員長の内山海衣さんは「中夜祭を振り返り、行列ができるくらい多くの人が集まってくれて嬉しかった。友達や個人でそれぞれに楽しむながら宝探しをしている様子を見て、達成感と嬉しさで胸がいっぱいになった」と語り、「こだわりを持ち諦めずに計画を立ててきたことで、多くの人が楽しむ企画を作れた」と喜びを語った。

(樋口 華)

64期生徒会太鼓 「自分たちの音色出せた」

今年度の西高祭でも生徒会総合本部役員による伝統の生徒会太鼓が披露され、見るものを圧倒した。3月に行われた予餞会で披露した際には「64期にしか出せない音色で生徒会太鼓を作り上げていきたい」と先輩を気遣ってか控えめな様子であったが、第59回西高祭を終えた直後には、「64期生徒会メンバーだからその演奏をすることが出来た」と充実感にあふれた「メ

ントが役員から多く聞かれた。佐藤純也校長先生は演奏を聴いて「太鼓の演奏が素晴らしい魅入ってしまいました」、長年生徒会太鼓を見てきた長井聡先生は「みんなで心を一つに」という意識が強いように感じました。技術的にはまだまだだし、少し意識すれば改善できるところは沢山あったが、その姿からはこの代の強い思いがひしひしと伝わっ



オープニングセレモニーにて行われた生徒会太鼓

てくる、そんな印象を受けました」と感想を話してくれた。

今年も盛況キッチンカー

新型コロナウイルス感染症対策のため昨年に引き続き生徒の飲食物の販売が制限された今年度の西高祭では、昨年と同様にキッチンカーが昇降口前に並び西高祭を賑わせた。出店したある業者の方は「上田発祥の食文化を継承していきたい。地域には素敵な食文化があるということを再認識して欲しい」と話す。また



今年度も多くの生徒が利用したキッチンカー

物価高騰もある中、学生に楽しんで貰いたいという気持ちから値段設定は控えめで、ラベルに西高祭のオリジナルデザインを取り入れるといった工夫も見られた。キッチンカーを企画した責任者で、生徒会副会長の白井瑠菜さんは「新型コロナウイルスの影響により苦しむ店舗に少しでも貢献したいと思っ

た。また昨年度の反響が良く、今年も呼びたいといった生徒の希望に応え

たかった」と話し、「行列ができるほど多くの人に利用して貰った。美味しかったなどの感想を頂き満足のいく昼食を提供出来たと思う」と振り返った。(田村 さくら)

第59回西高祭受賞団体一覧

○クラス企画

最優秀賞 2年2組
 優秀賞 1年1組・2年1組・3年7組
 テーマ賞 3年8組・2年8組
 アイディア賞 2年5組
 生徒審査賞 2年3組
 PTAユートピア賞 3年5組

○クラブ企画

ステージ部門最優秀賞 吹奏楽部
 優秀賞 書道部
 オブジェ・展示部門最優秀賞 文芸部
 優秀賞 華道部
 クラスパフォーマンス賞 3年5組2年7組

校門アーチ賞 3年8組 関ひかるさん
 ポスター賞 3年3組 市川拓哉さん
 カラオケコンテスト優勝 3年1組 柳澤雄太さん
 ダンスコンテスト最優秀賞 couleur
 優秀賞 D・D
 ダンスアレンジ賞 UEDAANGELS



西高祭のラストを飾った花火



クラブステージ部門最優秀賞を受賞した吹奏楽部



西高祭の初日はPTAから麦茶の差し入れがあった



開祭式前、円陣を組む生徒会総合本部役員



第59回西高祭開祭式



カラオケコンテスト優勝者の柳澤雄太さん



文大長野とのコラボ企画「がう」お互いの文化祭でそれぞれの地域の特産品を販売した





今回の文化祭ではフォトスポットが多くみられた



世界大会に出場したUEDAANGELSのパフォーマンス



自慢の歌声で全校を沸かせた白尾秀人先生



西高祭を運営した第64期生徒会総合本部役員



第59回西高祭審査結果発表の様子



書道部による書道パフォーマンス